

<研究名称>

眼科術後患者の歩行に対する不安因子と実態調査～転倒・転落事故防止と患者が安心して歩行できる環境整備を目指して

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 所 属 3階みなみ病棟
職 名 看護師長
氏 名 石原 満喜子

実施担当者 所 属 3階みなみ病棟
職 名 看護師
氏 名 荒谷 麻美、鷺森 愛、西島 成泉

<研究期間>

2021年7月～8月

<診療・研究の目的>

眼科入院患者は視覚機能の障害があるだけでなく、高齢者が多い。更に術後は眼帯により片眼遮蔽となるため、見えづらさによる転倒・転落事故のリスクは高くなる。短期入院でもあり、環境に適応できないまま退院となるケースも多いと予測される。表面化はしていないが、転びそうになった。扉や壁に衝突した等の恐怖体験をしている患者もいるのではないかと考える。そこで眼科術後患者の歩行に対する不安因子と実態を把握し、因果関係も分析する。その結果から患者が安心して歩行でき、転倒・転落事故防止につなげるための看護介入について考える。

<実施内容（方法）>

①研究デザイン

量的研究

相関関係的な研究デザイン

②対象・期間

対象者：眼科手術後1日目の患者（質問紙に記述回答できる患者、看護師の聞き取りにより口頭で回答できる患者）30名程度

期間：2021年7月～8月

③データの収集方法

質問紙法（選択回答、一部記述回答方式）

対象者の属性についての項目を、研究者が患者カルテから調査する。

<危険性（副作用）等>

無し

<倫理上問題になると考えられる事項>

個人情報取り扱い

患者の意思に反したアンケート調査となる恐れ

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

3階みなみ病棟 荒谷 麻美

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648